



コロナ禍で失われた 希望ある暮らしを 取り戻す！

国民民主党静岡県第4区総支部長

田中けん

プロフィール

1977年旧富士川町生まれ

【学歴】

静岡県立富士高等学校卒
青山学院大学経済学部卒

【職歴】

第一勧業銀行
大田区議会議員1期
東京都議会議員2期

【家族】

妻・息子(4歳)

臨時国会で デルタ株対策を!

病床確保や減収補償に必要な補正予算や法改正を

国民民主党は、7月16日に憲法53条に基づく臨時国会の召集を求めました。間もなく2カ月が経ちますが、政府・与党は未だに国会を開こうとしません。国民の命が危機にさらされているときに、国会を開かないで、いつ開くのでしょうか。しかも、自民党は党内政局に明け暮れている始末です。

政府・与党は予備費が不足しないから臨時国会を開会しないと言っています。しかし、臨時国会の開会には憲法53条により求められる内閣の義務であると同時に、予備費の残り2.6兆円があればなんとかするという認識自体が間違っています。コロナ対策には、最低でも30兆円は必要です。

私たち国民民主党には、具体的な政策、対案があります(裏面をご覧ください)。臨時国会を開き、デルタ株への対抗策を議論し、病床確保や減収補償に必要な法律の改正をはじめ、傷ついた経済を再生するための補正予算の編成に取り組むべきです。

田中けんの主張!

1★希望ある経済を取り戻す!

金融機関での現場経験を活かし、製造、飲食、観光、農林水産等の地域経済基盤を支えるための迅速かつ強力な支援制度を実施します!

2★希望ある地域を取り戻す!

様々な生活様式や働き方を保障し、困っている人を見捨てない、互いに助け合う地域社会を創るための制度整備等の支援を進めます!

3★希望ある教育を取り戻す!

子どもや若者に学ぶ機会を平等に保障するために、他国に比べ低い水準の教育への公的負担を拡充します!



国民民主党の 新型コロナナニ策

概要版



詳しくはこちらから

ワクチン接種が先行する諸外国では、重症化数が少なくなったとはいえ、感染者数は拡大し続けています。今後、国内におけるワクチン接種が順調に進んでも、日本でも感染者数が増えることを覚悟する必要があります。

感染者数が増えたとしても、検査を拡充することにより陽性者と陰性を明確に判別<みつける>し、陽性者には迅速で速やかな療養と隔離<おさえる>を、陰性者には自由な経済活動を認め<うごかす>、感染拡大防止と経済社会活動との両立を図ります。

みつける 第一策 検査の拡充

- 「無料自宅検査」によるセルフケアで家庭内感染を抑制
- 陰性証明を持ち歩ける「デジタル健康証明書(仮称)」の活用
- 国による検査精度管理で陰性に「お墨付き」

おさえる 第二策 感染拡大の防止

- 自衛隊の協力を得て臨時の医療施設を速やかに開設
- 国立病院・JCHOの患者受入れ拡大と民間病院の受入指示法制化
- 「被災者健康支援連絡協議会」の枠組みも活用し医療従事者を確保
- ワクチンを地域・年代に着目して戦略的に重点配分
- 入国時14日間待機の厳格化や接触アプリ義務化など水際対策の強化
- 移動制限のあり方と法制化の検討

うごかす 第三策 経済・社会活動との両立

- 一律10万円の再給付(低所得者は20万円、高所得者には確定申告時に課税)
- 消費税減税と納税免除
- 家賃など固定費の最大9割を支給する事業規模に応じた給付金
- 総合支援資金の再貸付延長と税・保険料の支払猶予延長
- 「デジタル健康証明書(仮称)」で自粛生活から解放(再掲)

山崎しんのすけさん

を参議院議員補欠選挙(10月7日告示・24日投開票)の国民民主党推薦候補予定者(静岡県選挙区)に決定!

山崎しんのすけさんプロフィール

1981年9月生まれ【学歴】浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
 【職歴】元衆議院議員・鈴木康友(現浜松市長)秘書/浜松市議会議員2期、静岡県議会議員3期【主な役職】静岡県議会建設委員会委員長/県議会会派ふじのくに県民クラブ政調会長/静岡県eスポーツ連合顧問/小・中学校PTA会長/浜松青年会議所副理事長【趣味・特技】スポーツ全般、日本舞踊(花柳流名取)、eスポーツ、読書、カラオケ、お酒

